「次世代育成支援対策推進法」に基づく一般事業主行動計画

鶴岡信用金庫

全職員が、仕事と生活の調和や両立を図ることができ、その能力を十分に発揮できるような働きやすい環境の整備を図るとともに、地域金融機関としてこの地域を担う次世代の育成を支援するため、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成27年5月1日 ～ 令和2年3月31日

2. 計画の内容

(1) 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備

目標 1 : 計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準以上を目指す
男子職員 … 計画期間中に2人以上が取得する
女子職員 … 取得率100%を目指す

〈 対策 〉

- ・男性も育児休業を取得できることを、会議等で全職員に周知・啓発する。
- ・出産休暇の届出の際に、育児休業取得支援を周知する。
- ・育児休業中の職員向け情報の継続交付とともに、ならし出勤等による職場復帰に向けた準備機会を提供する。

(2) 子育てを行う職員の仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備

目標 2 : 子供が生まれる際の父親の休暇の取得推進

〈 対策 〉

- ・配偶者が分娩の際には、慶弔休暇の取得とともに年次有給休暇を併せて取得するよう周知し促進を図る。
- ・子の看護休暇制度の活用を促し、子育て支援の一助とする。

(3) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

目標 3 : 所定外労働削減のため、「ノー残業デー」の導入・拡充や意識啓発等により所定外労働を削減

〈 対策 〉

- ・令和元年5月から所定外労働の削減の意識啓発を徹底する。
フレックスタイム制による勤務体制、変形就業時間制を積極的に活用し、所定外労働の削減を目指す。
- ・令和元年5月からは「ノー残業デー」の拡充として月3回以上実施する。

「次世代育成支援対策推進法」に基づく一般事業主行動計画

鶴岡信用金庫

(4) その他の次世代育成支援対策

目標 4 : インターンシップによる就業体験、並びに小中学生を対象とした「夏休み学習室」の提供

〈 対策 〉

- ・高校生や大学生を対象にインターンシップによる就業体験の機会を提供する。
- ・小中学生を対象とした「夏休み学習室」を継続して提供する。

以上

※ 平成31年4月26日に、下線部分を変更いたしました。